

2月6日付『週刊新潮』のJMI TU誹謗中傷記事に抗議するとともに、
訂正と謝罪を求める

20年2月6日付「週刊新潮」が「企業を恐怖に陥れる『ブラックユニオン』」と題するJMI TUを誹謗中傷する事実無根の記事を掲載した。

同記事は、JMI TUを「共産党系」としたうえで、「あるユニオンの幹部の話」と称して、「JMI TUの最高幹部は“社長をノイローゼにさせて自殺に追い込んだら勝ち”と公言する人物」とか「(日本IBMでは)大抵、社員はカンパとして30万円ほどを手渡されます。そのうえで再就職せずに闘争することを強いられ、たとえ和解金を手にしても半分近くをJMI TUに吸い上げられる」等々、まったく事実無根の内容を書き連ねている。

JMI TU本部や同日本IBM支部は、この掲載記事に関連して同誌から取材も問い合わせも受けていない。

事実の確認もせず、労働組合を誹謗中傷する記事を掲載することは許されない。週刊新潮社に対し、つよく抗議するとともに、記事の訂正と謝罪を求めるものである。

2020年3月5日

JMI TU (日本金属製造情報通信労働組合)